

# 知っておきたい 信楽焼

信楽焼の特徴や狸の置き物が持つ意味など、知っているようで知らない信楽焼に関する知識を紹介します。



# 信楽焼を楽しむ

もっと

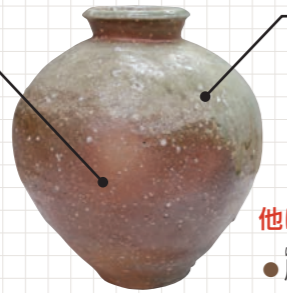
甲賀市といえば、信楽焼の産地として知られています。私たちの身近にある信楽焼ですが、どんな特徴があって、どれだけの手間や時間をかけて作られているか知っていますか。今回は、信楽焼に関する基礎知識や製作工程、国内外で信楽焼が活躍していることなど、知っていることもっと信楽焼が楽しめる知識を紹介します。

10月6日から信楽陶器まつりが始まります。あなただけのお気に入りの信楽焼を見つけて、ちよっぴり暮らしを豊かにしてみませんか。



## 信楽焼の特徴

**火色 (緋色)**  
信楽の土は程よく鉄分を含んでおり、温かみのある穏やかな火色になります。



**ビードロ釉**  
釉薬を施さず、焼成時に降りかかった灰が溶け、ガラス化した透明感のある青緑色になります。

- 他にも・・・
- 灰被り
  - 焦げ
  - 霰・蟹の目
  - 石はぜ
  - ヌケ

## 日本遺産に認定



「きつと恋する六古窯—日本生まれ日本育ちのやきもの産地—」  
信楽・越前・瀬戸・常滑・丹波・備前のやきものは「日本六古窯」と呼ばれ、世界に誇る日本古来の技術を継承している、日本生まれ日本育ちのやきもの産地です。これらの日本六古窯は、平成28年4月に日本遺産に認定されました。



## 信楽焼といえば狸の置き物

どうして狸が縁起物なの？  
「たぬき」＝「他を抜く」という意味から、商売繁盛や招福、開運など縁起の良いものとされています。

- 笠** 思いがけない災難を避ける
- 信楽狸 八相縁起**
- 大きな目 周囲に気を配り、正しい判断を
  - 笑顔 愛想良く
  - 通い帳 信用第一
  - 金袋 (かねぶくろ) 金運
  - 徳利 (とっくり) 人徳が身につく
  - 大きなお腹 冷静で大胆な決断を
  - 太い尾 事の終わりはしっかりと

## 原料となる土は古代湖からの恵み

信楽焼には、琵琶湖の前身である古琵琶湖に溜まった土砂や動植物の残骸などが堆積してできた古琵琶湖層群という地層から取れる土が使われています。加工がしやすく、大物づくりに適しているという特長があります。



▲お茶を飲みながら談笑する吉田会長（右から2人目）ら自治振興会の皆さん



が多いこの地域なら地消ができると思い、取り組みを始めました。

ペットボトルのお茶に比べ、準備や後片付けなど手間がかりますが、会議で議論が白熱したときに、温かいお茶で一息つくことで場が和む効果もあります。

自治振興会の取り組みとしては市内でここだけだと思います。市で定められた条例をみんなで作っていくことで協働を進めたいですね。

**地消の取り組みをここから会議を和ませる効果も**

希望ヶ丘学区自治振興会では、条例が施行された直後から、おもてなし条例を実践しています。地産地消を考えたとき、地産できるものがない代わりに、人口

**甲賀流 甲賀の茶と地酒を信楽焼の器で おもてなし**

市の伝統的な地場産業である茶のほか、地酒を信楽焼の器でもてなし習慣を広めることにより、これらの地場産品の普及を図るとともに、伝統的な地場産業に対する理解を深めることを目的として、平成27年3月に「甲賀の茶及び甲賀の地酒を信楽焼の器でもてなす条例」(通称) おもてなし条例」を制定しました。

希望ヶ丘学区自治振興会では、おもてなし条例に基づき、会議やイベントなどで市内産のお茶を信楽焼の湯飲みで提供されています。取り組みのきっかけについて吉田昌孝会長にお伺いしました。